

「ふるどの論田エコパワー発電所」 運転・運營業務

木質バイオマスガス化発電



「ふるどの論田エコパワー発電所」は、林業の町・福島県古殿町の廃校となった小学校のグラウンドを利用して、山林の間伐・皆伐で発生する未利用材を使った木質バイオマスガス化発電施設です。大和電設工業は「ふるどの論田エコパワー発電所」の運転・運營業務を担っており、地域に長く定着可能な雇用の創出に取り組んでいます。本発電所は、市場流通する木質チップを原料とする「ガス化発電」を目指し、事前乾燥が不要なアップドラフト型のガス化炉を採用。自然由来の木材をあますことなく使い、CO₂や廃棄物の発生を極限まで抑えておりカーボンニュートラルな社会の実現に貢献します。

また、「地産地消のエネルギー」をモットーに、燃料となる木質チップは、すべて古殿町近傍で生産される針葉樹を原料としています。発電量は発電端で1,984kWh/Hrで、およそ3,500世帯分の電力供給を担います。

DAIWA

大和電設工業株式会社

〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目5番1号
TEL 022-216-3111 <https://www.ddk.co.jp>

